

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立芝山小学校

校長名 榎並 みな子

令和8年度教育課程

標記の件について、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

(1) 教育目標

○よく考え、それをやり抜く子【学力の向上】

○より明るく、みんなと仲よくできる子【撓やかで強かな心と、豊かな人間性の育成】

○そして、心身ともに健康な子【心身の成長と、体力の向上】

また、育成すべき資質・能力を次のように設定する。

・自ら課題を見付け、自ら課題を解決していく力（自学力）

・他者とのかかわる力（かかわり力）【令和8年度の重点】

・自らの健康について考える力（健康力）

多様な人々が共に暮らす社会においては、様々な背景や価値観をもつ人が、違いを認め合いながら、支え合うことが必要である。児童が、他者への共感や思いやりをもつとともに自己を確立し、未来の社会の担い手となるよう、「かかわり力」の育成を重点とする。

(2) 教育目標を達成するための基本方針

ア 個別最適な学びの充実とともに協働的な学びを重視し、問題解決型授業を推進する。

関わり合いに根差した言語活動の充実により、主体的・対話的で深い学びを実践する。

イ 特別活動の充実により、児童の意思決定力や合意形成力を高め、それぞれの個性を生かし互いに補い合う、児童同士の良好な関わり合いを育む。

ウ 中学校区の特徴を生かした小中連携教育の推進とともに、地域との協働による多様な交流体験活動を展開し、持続可能な取組とする。地域に開かれた学校づくりにより、世代を超えた関わりを育んでいく。

エ 特別支援教室と通常の学級との密接な連携のもと、個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実させる。適切な支援を行うことで、ソーシャルスキル等の向上を図る。

オ 教育活動全体を通じた道徳教育の推進により、交流体験活動との関連から、他者との関わりを通じた自己の生き方についての考えを深めさせ、豊かな情操や規範意識を培う。

カ 体育授業の充実や児童会による取組等により運動の日常化を推進し、互いに関わり合いながら体を動かす楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

キ 特別支援教室においては、児童の多様な特性に応じた指導を充実させるために、自立活動の内容を明確化し、児童一人一人の自立への基礎的な力を養う。